

### ◆JR宗谷本線について

**Q** 列車の利便性は悪くなり続け、JR北海道は宗谷本線を廃線ありきで考えているように見える。町はどうように考えているのか。

**A** 鉄道廃止かバス転換かは、すぐに答えが出る問題ではありません。町民が不便を訴えていることをJR北海道に伝えると同時に、今進めている沿線自治体等での話し合いを大切にしたいと考えています。

**Q** 鉄路を残したいのならば、収支には変えられない田舎の良さをPRし、観光客を呼びつかない。

**A** 幌延の秘境駅をPRするイベントは各方面から高く評価されています。現在、JR北海道と沿線自治体で集客力を高めるための具体的な計画（アクションプラン）を作っています。

### ◆風力発電について

**Q** 浜里で建設計画のある風力発電17基はその後どう

なったのか。

**A** 環境アセスメントの手続きが最終段階を迎えています。設置業者による町民説明会が行われるかもしれませんが。

**Q** 環境省の文書によると、複数の業者が幌延・天塩周辺で計20〜30基の設置を計画している。国立公園すれの場所もあり、計画がそのまま進むのか心配だ。

**A** 環境省は事業者に対し、自然環境や景観に配慮するよう求めつつ、国民の意見を聞いて審査しており、計画全てが実行されるわけではありません。重要な議論がなされる場合は町からも情報発信します。

### ◆町政全般について

**Q** 町内産のミズナラの木を使ってワインの樽を作っていると聞いた。その趣旨を教えてください。

**A** ワイン醸造用樽の原料に町内産ミズナラの木が適していることが分かり、地元の特産品候補として昨年

秋に作りました。ワインに使うブドウの栽培もトナカイ牧場の花壇で試験的に行っています。ワインができれば町民を集めて試飲会を開き、ゆくゆくはふるさと納税などで使えれば良いと思っています。

**Q** 有害鳥獣の駆除は進んでいるか。秋には鹿に畑を荒らされる。

**A** 今年は鹿の数が少なく、去年の6割程度の400頭ぐらいしか捕れていません。ただ町内だけで捕っても、鹿は移動するため近隣自治体との協力が必要になります。なお、問寒別では熊6頭を捕っています。

**Q** マイナンバーカードを失くすなどして、他人の手に渡った場合、個人情報漏れる心配がある。リスクを抱えてまで進める事業なのか。

**A** カードを使う場合は本人認証が必要で、簡単に他人が悪用できないようになっています。設備が整えば、病院で健康保険証としても

使えます。カード1枚であるので、利用の拡大を目指しています。



**Q** 婚活イベントの進捗状況はどうか。

**A** 平成30年度は昨年10月、今年2月と計3回行いました。12月はマッチングイベントを行い、盛り上がりました。ただ、参加者が徐々に減っているの、継続してできる方法を模索しています。イベントを考える実行委員も公募で集めるなど、工夫して実りあるものにしていきます。

**Q** 町内の子どもの減少に伴って中学校でできる部活動も限られており、他町で活動する生徒もいる。指導者が足りないのならば、地域の大人が外部コーチをするなど協力する。生徒が望む活動ができるよう、教育委員会は学校側に働きかけることが必要ではないか。

**A** 教員の長時間労働を是正しようと、全国の学校で働き方改革が進んでいます。そういった意味でも地域の方々に指導していただけることは、学校との合意形成ができれば良いことだと思います。仮に団体競技の部活動を作る場合、数年先に生徒が集まるかどうか見通しを調べなければならず、慎重に検討する必要があります。

お問い合わせ先

住民生活課

生活環境グループ

電話 5-111115

告知端末機 5-18812